

【BHELP標準コース試行コース受講された皆さまのインストラクター資格取得までの流れ】

2017年4月30日

試行コース修了



必須要件：伝授コース受講

* 2017年内の受講が必要。それ以降は再度標準コース、インストラクターコースの受講が必要



<インストラクター認定までの流れ>

標準コースにプレインストラクターとして参加し、BHELP標準コースにおいて担当グループで全プログラムのファシリテーションを行いインストラクター認定評価を受ける。

*** 2015年12月東京医療保健大学コース～2016年8月横浜労災病院コースを受講の方は1回の見学参加が必須（プログラム内容が大幅に変更されているため）**

*** 2016年9月福島医大コース以降の方は、1回目からプレインストラクターとして参加可能。希望者は見学参加可能。**



インストラクター認定評価で評価点を満たしていれば、BHELP運営委員会において審議後、BHELP運営委員長が認定する。



<インストラクター認定証交付までの流れ>

日本集団災害医学会会員であって会費の滞納がない場合には、認定登録手数料5,000円は免除され、認定証をすぐに発行。上記以外の場合は、認定登録手数料5,000円を学会事務局に振り込む。振込確認後に認定証を交付。

試行コース開催日	コース開始場所	対応
2015年12月6日	東京医療保健大学	プログラム内容が大幅に変更となったため 1回の見学参加が必須 その後、プレインストラクター参加
2016年2月29日	山形県立中央病院	
2015年6月18日	人と防災未来センター	
2015年7月9日	東京医科歯科大学	
2015年7月30日	愛仁会リハビリテーション病院	
2015年8月20日	横浜労災病院	1回目からプレインストラクターとして参加可能 希望者は見学可能
2015年9月4日	福島県立医科大学	
2015年9月22日	新潟大学医学部災害医療教育センター	
2016年11月5日	札幌医科大学附属病院	
2016年11月19日	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
2016年11月23日	鳥取大学医学部附属病院	
2016年11月27日	熊野市保健福祉センター	
2016年12月3日	福岡県済生会福岡総合病院	
2016年12月18日	岡山済生会総合病院	
2017年1月29日	聖マリア病院	
2017年3月4日	大阪府済生会千里病院	
2017年3月25日	和歌山県立医科大学	